

5. 研修カリキュラム表(介護職員初任者研修課程 通学)

業者名: 学校法人中央育英学園
(東京心理音楽療法福祉専門学校)

研修カリキュラム(実施要綱別紙1)		実施計画		
講義・演習(実習)		カリキュラム名・時間数		実施内容
1	職務の理解 6時間	1	職務の理解 6時間	1 職務の理解
	(1)多様なサービスの理解	(1)	同左 3	(1) 講義のみ
	(2)介護職の仕事内容や働く現場の理解	(2)	同左 3	講義及び演習 介護職の仕事内容や働く現場の理解について、調べ学習及び講義の後、居宅、施設の実際のサービス提供現場のイメージについて、複数の具体的な事例を示し、グループで検討し発表する。
2	介護における尊厳の保持・自立支援 9時間	2	介護における尊厳の保持・自立支援 9時間	2 介護における尊厳の保持・自立支援
	(1)人権と尊厳を支える介護	(1)	同左 5	(1) 講義及び演習 人権と尊厳を支える介護について、調べ学習及び講義の後、ノーマライゼーションについて複数の具体的な事例を示し、グループで検討し発表する。
	(2)自立に向けた介護	(2)	同左 4	(2) 講義及び演習 自立に向けた介護について、調べ学習及び講義の後、自立支援方法について複数の具体的な事例を示し、グループで検討し発表する。
3	介護の基本 6時間	3	介護の基本 6時間	3 介護の基本
	(1)介護職の役割、専門性と多職種との連携	(1)	同左 1	(1) 講義及び演習 介護職の役割、専門性と多職種との連携について、調べ学習及び講義の後、介護の専門性について、複数の具体的な事例を示し、グループで検討し発表する。
	(2)介護職の職業倫理	(2)	同左 1	(2) 講義及び演習 介護職の職業倫理について、調べ学習及び講義の後、プライバシーの保護・尊重について複数の具体的な事例を示し、グループで検討し発表する。
	(3)介護における安全の確保とリスクマネジメント	(3)	同左 2	(3) 講義及び演習 介護における安全の確保とリスクマネジメントについて、調べ学習及び講義の後、事故防止・安全対策について複数の事例を示し、グループで検討し発表する。
	(4)介護職の安全	(4)	同左 2	(4) 講義及び演習 介護職の安全について、調べ学習及び講義の後、心身の健康管理について複数の具体的な事例を示し、グループで検討し発表する。
4	介護・福祉サービスの理解と医療との連携 9時間	4	介護・福祉サービスの理解と医療との連携 9時間	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携
	(1)介護保険制度	(1)	同左 3	(1) 講義のみ
	(2)障害者総合支援制度及びその他制度	(2)	同左 3	(2) 講義及び演習 障害者総合支援制度及びその他の制度について、調べ学習及び講義の後、個人の権利を守る制度の概要について、複数の具体的な事例を示し、グループで検討し発表する。
	(3)医療との連携とリハビリテーション	(3)	同左 3	(3) 講義及び演習 医療との連携とリハビリテーションについて、調べ学習及び講義の後、施設における看護と介護の役割・連携について、複数の具体的な事例を示し、グループで検討し発表する。
5	介護におけるコミュニケーション技術 6時間	5	介護におけるコミュニケーション技術 6時間	5 介護におけるコミュニケーション技術
	(1)介護におけるコミュニケーション	(1)	同左 3	(1) 講義及び演習 介護におけるコミュニケーションについて、調べ学習及び講義の後、失語、聴覚、視覚障害者に応じて、利用者役と介護者役に分かれて、二人一組でロールプレイングによるコミュニケーション技術を体験する。
	(2)介護におけるチームのコミュニケーション	(2)	同左 3	(2) 講義及び演習 介護におけるチームコミュニケーションについて、調べ学習及び講義の後、コミュニケーションを促す環境について、複数の具体的な事例を示し、その方法や留意点等についてグループで検討し発表する。
6	老化の理解 6時間	6	老化の理解 6時間	6 老化の理解
	(1)老化に伴うところからの変化と日常	(1)	同左 3	(1) 講義及び演習 老化に伴うところからの変化と日常について、調べ学習及び講義の後、老化に伴う心身の変化について、複数の具体的な事例を示し、グループで検討し発表する。
	(2)高齢者と健康	(2)	同左 3	(2) 講義及び演習 高齢者と健康について、調べ学習及び講義の後、高齢者の疾病と生活上の留意点について複数の具体的な事例を示し、グループで検討し発表する。
7	認知症の理解 6時間	7	認知症の理解 6時間	7 認知症の理解
	(1)認知症を取り巻く状況	(1)	同左 2	(1) 講義のみ
	(2)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	(2)	同左 1	(2) 講義のみ
	(3)認知症に伴うところからの変化と日常生活	(3)	同左 2	(3) 講義・演習 認知症に伴うところからの変化と日常生活について、調べ学習の後、認知症の利用者への対応について複数の具体的な事例を示し、グループで検討し発表する。
	(4)家族への支援	(4)	同左 1	(4) 講義のみ
8	障害の理解 3時間	8	障害の理解 3時間	8 障害の理解
	(1)障害の基礎的理解	(1)	同左 1	(1) 講義のみ
	(2)障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	(2)	同左 1	(2) 講義のみ
	(3)家族の心理、かかわり支援の理解	(3)	同左 1	(3) 講義及び演習 家族の心理、かかわり支援の理解について調べ学習及び講義の後、介護負担の軽減について複数の具体的な事例を示し、グループで検討し発表する。
9	ところからのしきみと生活支援技術 75時間	9	ところからのしきみと生活支援技術 75時間	9 ところからのしきみと生活支援技術
ア	基本知識の学習 10~13時間	ア	基本知識の学習 12時間	ア 基本知識の学習

(1)介護の基本的な考え方	(1) 同左	4	(1) 講義のみ
(2)介護に関するところのしぐみの基礎的理解	(2) 同左	4	(2) 講義及び演習 介護に関するところのしぐみの基礎的理解について、調べ学習及び講義の後、からだの状態がここに与える影響について、複数の具体的事例を示し、グループで検討し発表する。
(3)介護に関するからだのしぐみの基礎的理解	(3) 同左	4	(3) 講義及び演習 介護に関するからだのしぐみの基礎的理解について、調べ学習及び講義の後、利用者の様子の普段との違いに気づく視点について複数の具体的事例を示し、グループで検討し発表する。
イ 生活支援技術の講義・演習 50～55時間	イ 生活支援技術の講義・演習 51時間		イ 生活支援技術の講義・演習
(4)生活と家事	(4) 同左	3	(4) 講義及び演習 生活と家事について、調べ学習及び講義の後、生活と家事援助の視点から自立支援について複数の事例を示し、グループで検討し発表する。
(5)快適な居住環境整備と介護	(5) 同左	3	(5) 講義及び演習 快適な居住環境整備と介護について調べ学習及び講義の後、福祉用具に関する留意点と支援方法について複数の事例を示し、グループで検討し発表する。
(6)整容に関連したところからだのしぐみと自立に向けた介護	(6) 同左	3	(6) 講義及び演習 整容に関連したところからだのしぐみと自立に向けた介護について、調べ学習及び講義の後、整容に係る支援技術について二人一組で実際に行う。
(7)移動・移乗に関連したところからだのしぐみと自立に向けた介護	(7) 同左	12	(7) 講義及び演習 移動・移乗に関連したところからだのしぐみと自立に向けた介護について、調べ学習及び講義の後、車椅子を使用して、様々な場面を想定した移動や移乗について体験する。又、移動や移乗の支援方法や留意点についてグループで検討し発表する。
(8)食事に関連したところからだのしぐみと自立に向けた介護	(8) 同左	7	(8) 講義及び演習 食事に関連したところからだのしぐみと自立に向けた介護について、調べ学習及び講義の後、食事に関連した用具や食器を活用し、様々な場面を想定した実際の体験する。又、食事の支援方法や留意点等について、グループで検討し発表する。
(9)入浴、清潔保持に関連したところからだのしぐみと自立に向けた介護	(9) 同左	7	(9) 講義・演習 入浴、清潔保持に関連したところからだのしぐみについて、調べ学習及び講義の後、様々な入浴用具と整容用具を使用して、様々な場面を想定しその実際を体験する。又、楽しい入浴を阻害するところからだの要因と支援方法について、グループで検討し発表する。
(10)排泄に関連したところからだのしぐみと自立に向けた介護	(10) 同左	8	(10) 講義及び演習 排泄に関連したところからだのしぐみについて、調べ学習及び講義の後、排泄用具の活用方法や様々な場面を想定しその実際について体験する。又、排泄環境整備や排泄を阻害するところからだの要因について、グループで検討し発表する。
(11)睡眠に関連したところからだのしぐみと自立に向けた介護	(11) 同左	4	(11) 講義及び演習 睡眠に関連したところからだのしぐみと自立に向けた介護について、調べ学習及び講義の後、睡眠に係る用具や様々な場面を想定しその実際について体験する。又、睡眠環境や睡眠を阻害するところからだの要因について、グループで検討し発表する。
(12)死にゆく人に関連したところからだのしぐみと終末期介護	(12) 同左	4	(12) 講義及び演習 死にゆく人に関連したところからだのしぐみと自立に向けた介護について、調べ学習及び講義の後、「生と死」について複数の事例を示し、グループで検討し発表する。
(実習) [※] (50～55時間中12時間以内)	(実習) [※] 時間		(実習) [※]
介護実習 ○時間			
ホームヘルプサービス同行訪問 ○時間			
在宅サービス提供現場見学 ○時間			
ウ 生活支援技術演習 10～12時間	ウ 生活支援技術演習 12時間		ウ 生活支援技術演習
(13)介護過程の基礎的理解	(13) 同左	4	(13) 講義及び演習 介護過程の基礎的理解について、調べ学習及び講義の後、介護過程のチームアプローチについて複数の事例を示し、グループで検討し発表する。
(14)総合生活支援技術演習	(14) 同左	8	(14) 講義及び演習 総合生活支援技術について、調べ学習及び演習の後、ところからだの力が発揮出来ない要因や適切な支援技術等について、高齢者で要支援2程度の利用者及び認知症の利用者について、複数の具体的事例を示し、グループで検討し、発表する。また、介護技術を適用する各手順のチェックリスト形式による確認等を行う。
10 振り返り 4時間	10 振り返り 4時間		10 振り返り
(1)振り返り	(1) 同左	2	(1) 講義及び演習 研修を通して学んだこと、今後継続して学ばべきことについて、調べ学習及び講義の後、利用者の状態に応じた介護と介護過程、身体・心身・社会面を総合的に理解するための重要性、チームアプローチの重要性について、複数の事例を示し、グループで検討し発表する。
(2)就業への備えと研修修了後における継続的な研修	(2) 同左	2	(2) 講義及び演習 就業への備えと研修修了後における継続的な研修について調べ学習及び講義の後、継続的に学ばべきことや研修修了後における継続的な研修、具体的イメージできるような事業所等における事例を具体的に示し、グループで検討し発表する。
追加カリキュラム			
計 (130時間)	計 (130時間)		

※「9ところからだのしぐみと生活支援技術」内で実習を行う場合、12時間以内とする。